



変化の時代を生き抜いていく

今回は、『変化の時代を生き抜いていく』をテーマに、自分なりに考えていることを書き綴っていきたいと思います。

変化に対する私のスタンスは、まずは自分、自社において根幹にあるものをあらためて確認することだと思います。

昨今、政治においても久しぶりに大きな変化の兆しが出ています。

変化=なんでも変わるということでもないと思っています。

またビジネスにおいても生成 AI が大きな変化をもたらしつつあります。

変化においても、変えてはならないものもあります。

今年は大きな変化のスタート元年になる予感がします。

例えば、企業理念や方針、自社が提供する価値は何か。その本質です。

そうした変化に対して、皆さんはどのように考え、そして対応しますか？

そこは軸としてぶらさずに持ち続ける。

私は、基本的に変化の時はずいぶんチャンスでもあり、ピンチでもあると考えています。

その上で提供できる商品やサービス、その提供方法は時代に合わせて変化していかなければならないものだと思います。

つまり変化をチャンスととらえて取り組めば、チャンスにもなりうるし、変化にきずかない、もしくは変化を避けようとすると、結果的にピンチになるうることがあると考えています。

弊社においても研修コンテンツや研修の提供方法、人財育成におけるサービスなども同様に、時代に合わせて常に変化をしないといけないのだと思います。

(裏面へ続く)



基本的に人は変化をきらいます。ただ微妙な部分でもいので変化をし続けていくことは大切だと思います。自分では変化したくなくても、人は年齢を重ねていきます。当然、年齢を重ねていくことで、自分自身の体はもちろん、自分の周りの環境もかわっていくと思います。

Under Planning



はかりで研修
はかりを使って様々な角度からのダイバーシティやチームビルディング研修を企画中です。
どんな仕掛けがあるのか楽しみにしてください。

- 変化の兆しはどこで感じるのでしょうか。 やってみるとわかることもあります。やらないとわからないこともあります。
- 政治や経済においてはニュースなどで最新のトレンド情報を得ることもあるでしょうか。 大切なことは考え続けるだけでなく、変化に対して具体的に行動すること。
- やはり最も重要なことは「人」からの情報ではないでしょうか。 もっと言えば、行動を始めることだと思います。
- ビジネスにおいては、クライアントのニーズや言動をよく観察しておくことがとても大切だと思います。 行動を始めてみると、自分自身や周りにも影響を及ぼすことができます。
- 当たり前のように思っていると気づかないものです。謙虚に、常にアンテナを立て続けることが必要です。 最初は自分ひとりでやっていたものが周りを巻き込めるようになっていくかもしれません。
- もちろん、クライアントだけでなく、信頼できるパートナーからの情報もあると思います。 最後に変化を感じて、具体的に行動を試みた後、その結果を振り返ることです。
- それは相手からの情報提供もあれば、こちらから求めるものもあると思います。 もっと言えば、検証するとも言えるかもしれません。
- そして相手との雑談や言動の中からこちらが感じることもあると思います。 そしてうまくいったこと、いかなかったことを検証して、さらに次の一歩・改善に入ります。
- 変化を感じた時に、自分がどう動くかです。もしかしたら大きく動けないこともあると思います。 そしてサイクルを繰り返していくことで、気づいた時には変化に対する大きな一歩になっていることがあると思います。
- ただ考えたり、変化をもとに何をするか。その手を考え、準備を始めることは誰でもできると思います。 まずは何気なく見過ごしがちな変化を感じるように、自分なりのアンテナの感度をあげておいてください。
- 変化に対して、大きく変わろうとすると色々な難しいこともあると思います。 感度をあげる秘訣は、謙虚に、素直になること。
- その時は最初の小さなステップでやってみることだと思います。 そうすることで、色々な情報が頭の中に入ってくるのではないのでしょうか。
- 変化を感じるために、自分への戒めも含めて書かせて頂きました。



【コラム執筆】

人と人、人とコトの仲をつなぐ

変化は常にあるものです。恐れずにいきたいものです。

仲津定宏

研修受講報告

MBTIを活用したリーダーのための勝てるチーム・人の作り方研修（1日目）実施報告



先日とある企業様で、『MBTIを活用したリーダーのための勝てるチーム・人の作り方研修（1日目）』を実施しました。研修では、冒頭になぜビジネス界でスポーツ心理学が注目・活用されるのかについて触れたり、主体性や自主性の違い、自分のスイッチなどについて講義をした後、MBTIのテストを実施。その後に、MBTIの概要や各タイプに関する説明などをおこないました。

その後、グループワークをいくつか行い、あるタイプに関するグループワークを初日には行いました。初日にまだ1つのワークしかしていないにも関わらず、とても衝撃的だったようで、研修モードではなく、初日ながらすでに仕事における本気モードに入りかけているのがとても興味深かったです。